

たかぎ 2025年10月号 第73号

社協だより

今号の内容

- ② 敬老祝賀会／ヘルパー紹介
- ③ ふくしの集い告知／赤い羽根募金開始
- ④ 夏休み宿題会＆だれでもランチ会
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ おしらせ／4か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス <http://takagi-syakyo.com/>
●印 刷● 龍共印刷株式会社

マニキュアを塗って女子力アップ!



ゲームになると皆真剣です!



普段使う車いす、丁寧に拭き掃除!



サロンでミニ演奏会♡



喬木村中学生と高校生の皆さんが サマーチャレンジ ボランティアをおこないました

夏休み期間中の7月24日から8月8日にかけて、喬木村の中学生と高校生を対象とした「サマーチャレンジボランティア」を開催し、59名の学生がボランティアに参加しました。

この企画は、夏休みを利用して、ボランティア活動を体験し、福祉に興味を持つことを目的としています。学生たちは、事前に配布された活動内容リストの中から興味のある場所を選び、さまざまなボランティアを体験しました。

皆さんボランティア活動に積極的に参加されており、高齢者施設では、利用されている方の話し相手になったり、レクリエーションの手伝いをしました。

参加した中学生は「最初は少し緊張したけれど、おじいちゃんやおばあちゃんの笑顔を見て、来てよかったと思いました」と語ってくれました。

今回の活動の様子をボランティア情報誌でも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



【たかぎ社協だよりは、社協会費と赤い羽根共同募金の配分金が使われています】

令和7年度 喬木荘敬老祝賀会



お祝いを受けられた皆さん



9月の敬老の日にあわせて令和7年度特養喬木荘のお祝い授与式と祝賀会が行われました。授与式では喬木村村長より米寿の方4名、白寿の方1名、100歳以上の方6名がお祝いを受け取られました。

祝賀会ではボランティア「琴志華会」の皆さんによる大正琴の音色に合わせて懐かしい歌と一緒に歌い、お赤飯や天ぷらなどのお祝い昼食を囲みました。皆さんに記念品をお渡しし、盛大に全利用者様のお祝いをすることができました。



こんにちは！社協ヘルパーです！！



私たちは、喬木村社協 訪問介護（ヘルパー）です。

訪問介護とは、介護を必要とされる方が住み慣れたご自宅で安心して生活できるよう、資格を持った介護職員（ヘルパー）が、喬木村内の要介護、要支援者のお宅へ伺い、利用者様のニーズに応じたサービスを提供しています。

ヘルパーの訪問を心待ちにしてくれている利用者様は「待ったに、助かるなあ」と笑顔で迎えてくれます。ヘルパーが訪問する事で、利用者様やご家族様も安心して過ごせるとの声も聞かれます。

皆様が日々安心して過ごしていただけるよう、私たちヘルパーがお手伝いをさせていただきます。不安な事やご不明な点等、どんな小さな事でもお気軽にご相談下さい。



安心してお任せください



かぼちゃ、秋ナスなどの旬の食材を使った料理（一例）

【介護保険制度に基づいた主なサービス】

- 身体介護（食事、入浴、排泄、更衣、移乗介助、体位変換、薬の受取代行等）
- 生活援助（掃除、洗濯、調理、買物代行等）
- 介護予防、日常生活支援総合事業
- 障がい福祉サービス
- 福祉有償運送



お問合せ先：喬木村社会福祉協議会 電話 33-4567（代表）

令和7年12月7日 日曜日

ふくしの集い

「みんながいるから大丈夫だよ」といえる地域を目指して

開会

9時30分～
(開場：9時)

講演

発達障害のキホンの「キ」

発達障害があってもダイジョウブナントカナル

会場

福祉センター2階
(長野県下伊那郡喬木村 6677)

講師：新美 妙美 先生

定員

150名
(定員になり次第締め切ります)

信州大学医学部

子どものこころの発達医学教室 特任教授

申し込み

事前申し込みが
必要です参加無料です。
こちらのQRコードにて
お申し込みください物販・展示
もあり

主催：(福) 喬木村社会福祉協議会 (電話0265-33-4567)

後援：喬木村



赤い羽根共同募金にご協力をよろしくお願いします。

募金運動期間 10月1日～12月31日

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

皆様から寄せられた募金は、喬木村の子どもたち・高齢者・障がい者などを支える様々な福祉活動や災害時等の被災者支援活動などに役立てられます。

今年度、喬木村共同募金委員会では、1,020,000円を目標に募金活動を実施します。目標額を定めていますが、あくまでも任意の募金となりますので、趣旨をご理解いただき、皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



皆様からの募金は、身近なところで活用されています。



希望の旅



宿題会&ランチ会



ふれあい広場

「赤い羽根」の配布について

これまで募金運動に合わせて各地域のご協力により全世帯に「赤い羽根」をお配りしておりましたが、配布に係る各地域の負担や、より効果的な運動の推進を図る観点等から、今年度より「赤い羽根」の全世帯への配布は行わないことにいたしました。何卒ご理解とご了承をお願い申し上げます。なお、赤い羽根を必要な方は、ボランティアセンターまたは喬木村社会福祉協議会へお問い合わせください。

夏休み宿題会&だれでもランチ会

夏休み宿題会



8月8日（金）に、みんなの広場アスポで、小学生のお子さんを対象に宿題会を行いました。この催しは、宿題を通して高校生と交流することを目的に毎年開催しています。

今回は、1年生から6年生まで28名が集まり、見守り役として高校生6名が加わってくれました。宿題会を終えた高校生からは「始めは緊張したけれど、小学生の皆さんが分からないことがあると、手を挙げてくれたので教えやすく、楽しかった」と感想が寄せられました。また、小学生からは「高校生のお姉さんに優しく教えてもらい、分かりやすかった」と話してくれました。途中、休憩をはさみながら、小学生の皆さんは集中して、宿題に取り組んでいました。

宿題を終えた子どもたちは、高校生ボランティアに笑顔でお礼を言い、会を終えることができました。高校生にとっても、小学生にとっても心に残る宿題会になりました。

だれでもランチ会



同日には「だれでもランチ会」も行いました。

朝から地域のボランティアさんと高校生ボランティアさんが心を込めて作ったカレーは、なんと120人分！1時間以上煮込み完成したカレーは、野菜と肉が溶けて甘くおいしいカレーに仕上がりました。他にもきゅうりの一本漬けや紫玉ねぎのマリネ、スイカなども出され、子どもたちは「これ前にも食べてうまかった!!」と大喜び。ボランティアさんからは「今回はおかわりが少なかったせいか、余ってしまったけれど、皆さんに喜んでもらえてやりがいを感じた。元気な内は協力していきたい」と感想を寄せて頂き、地域に暮らす大人と子どもたちとの交流ができたのかなと感じました。

野菜を届けてくれた方、当日調理をしてくれた方など多くの皆さんのご支援で今回も無事に終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



第119号

令和7年10月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel33-5520

fax33-5330

サマーチャレンジボランティア

活動の様子 

お茶後の休憩時間に紙芝居を読みました。



利用者さんと一緒に体操に参加しました。



マニキュア綺麗に
できたかなあ
すごく喜んでくれ
て嬉しかったです。

「参加された学生の感想」

- こども学遊館に通ったことがなかったので、体験して子ども達がどのように過ごしているのか知ることができました。
- 利用者さんの方たちと楽しくお話することができました。介護の仕事がどんなことをしているのか実際に見ることができ、興味が湧きました。
- 紙芝居を読んだあと「ありがとう」「良かった」と言ってもらえたことが嬉しかったです。
- 今度はゴミ拾いなど地域に貢献できる活動もやってみたいと思いました。

第2回 懐かしいレコードを聴く会を開催しました。



大切に保管してあったレコードを
久しぶりに聴くことができました。
とても懐かしいです。

9月11日みんなの広場アスボにて、懐かしいレコードを聴く会を開催しました。レコードの温かい音色が会場に響きわたりました。歌謡曲や演歌などの思い出の一曲や競馬実況などジャンルを超えた幅広い選曲に、「この曲、懐かしい!」「あの時、こんなことがあってね」と、参加者同士、当時の様子を思い出しながら会話が弾みました。

懐かしのレコードを聴く会では、レコードを持っていなくても聴くだけでも参加することができます。次回は11月14日(金)の開催を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

喬木
まつり

喬木村社協は
ワークショップで参加！

ペットボトルランタンを作ってみよう！

身近にある物で災害時にも活用できるランタン製作にご参加いただきました。今回はお祭りバーションでデコレーションを楽しんで持ち帰られました。参加希望が多く、予定時間より早く終了となりました。



今年はお楽しみコーナーとして社協事業所の無料の製作品持ち帰りコーナーも設置し、多くの皆さんに見ていたく事ができました。

参加費の一部が義援金になりました

材料費を除いた参加費を、「令和7年台風15号静岡県義援金」とさせていただきます。義援金箱も設置したところ、お小遣いの中から気持ちを入れてくれた小学生もあり、感謝いたします。

義援金総額4,256円を静岡県共同募金会へ送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

10月の予定	なずな予防カフェ	28日 (火)	10:00~12:00	アスボ
11月の予定	心配事相談	7日 (金)	10:00~11:00	アスボ
	結婚相談	15日 (土)	19:00~20:00	社協会議室 (予約制)
	なずなカフェ	11日 (火)	10:00~12:00	アスボ
	なずな予防カフェ	25日 (火)	10:00~12:00	アスボ
12月の予定	心配事相談	5日 (金)	10:00~11:00	アスボ
	結婚相談	20日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	9日 (火)	10:00~12:00	アスボ
	なずな予防カフェ	23日 (火)	10:00~12:00	アスボ
1月の予定	心配事相談	9日 (金)	10:00~11:00	アスボ
	結婚相談	17日 (土)	19:00~20:00	社協会議室(予約制)
	なずなカフェ	13日 (火)	10:00~12:00	アスボ
	なずな予防カフェ	27日 (火)	10:00~12:00	アスボ

職員のひまわり

スーザン・バーレイ作『わすれられないおくりもの』という絵本をご存じでしょうか。年老いたアナグマが亡くなったあと、仲間たちは彼との思い出や教えを振り返りながら、悲しみを乗り越えていきます。アナグマが生前に伝えた知恵や優しさは、仲間たちの心に“形見”として残り、それぞれの暮らしを支える「忘れられない贈りもの」となる、といった内容のお話です。

高齢者支援の仕事をしていると、私自身も多くの「忘れられない贈りもの」をいただきます。励ましの言葉、人生訓、きれいな雑巾の縫い方、なすの辛子漬けの作り方——その一つひとつが、心に残る宝物です。

私もまた、子どもたちに“物ではない何か”を残せるような生き方したいと改めて思います。心に残る贈りものを胸に、今日も誰かの暮らしに寄り添っていきたくと思います。〈N.H〉



ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

